

本市の現状及び課題

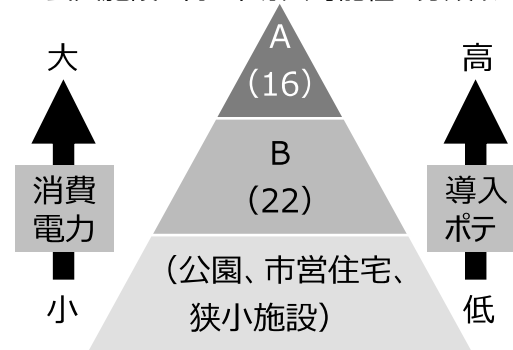
現状の課題

- 経済**
 - 働く場の不足
 - 地域産業の衰退
 - 観光資源の活用不足
- 社会**
 - まちの低密度化
 - 空家の増加
 - コミュニティの衰退
 - 担い手不足
 - 高齢化の進展
- 環境**
 - 「世界遺産の海」の汚染
 - 異常気象による自然災害のひん発

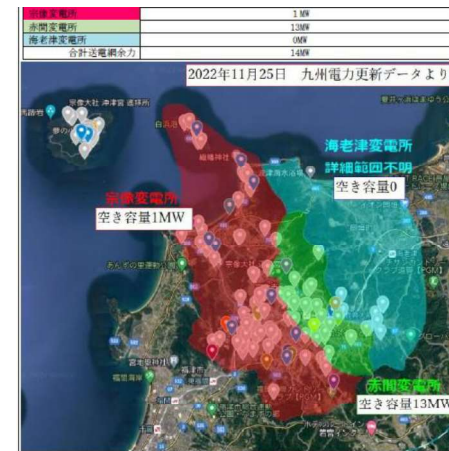
再エネ整備に関する課題

- 公共施設の敷地内に設置できる再エネには限界がある、ニュートラル実現には程遠い現実（※1）
- 送電線の空き容量（高圧）は極少、電力の融通には自営線などの手法の検討が必要（※2）
- 再エネ推進交付金の活用には相応の規模間のハード整備&民生部門（市民、事業者）の協力が必要

※1 公共施設の再エネ導入可能性の分類イメージ



※2 送電網余力状況の分布図



高い数値目標

- 2030年：温室効果ガス排出量46%削減（2013年比）、設置可能な公共施設の50%に再エネの整備
- 2050年：ゼロカーボンシティの実現

目指すべき方向性

再エネを活用して課題が一つでも解決できないか？



地域に恩恵がある取組、地域への効果を増大させる取組の検討



宗像らしさ（宗像モデル）の『再エネ×まちづくり』の追求

宗像らしさとは？

豊かな自然（海・山・里・川）とその恩恵となる特産物を生産する地場産業（農業、水産業）、分別収集や環境美化行動など市民意識の高さなど

宗像らしさを伴わない取組は本市の魅力低下に繋がるものであり、選択すべきではない!!